

企画展

人々を援^{たす}け寄り添^よう

2025年 11月22日^土 ~ 2026年 1月18日^日
前期 2025年11月22日^土 ~ 12月21日^日 / 後期 12月23日^火 ~ 2026年1月18日^日

〔鍾馗図〕 二代葛飾戴斗 江戸時代・文政13年（1830） 大倉集古館蔵



庚寅



神と仏

道釈人物画の世界

※同会期中のリピーターは500円引き（一般・大学・高校生料金お支払いの方のみ）※20名様以上の団体は500円引き ※障がい者手帳、被爆者手帳を提示の方とその同伴者1名は無料 ※お着物（和装）で来館の方は300円引き ※ミラージュバスポート5500円 ※オークラ東京とのセット鑑賞券（ランチセット6000円、茶菓セット3100円）



〔開館時間〕10:00~17:00（入館は16:30まで）〔休館日〕毎週月曜日

（ただし1月12日は開館）、12月29日~12月31日、1月13日 ※年始は1月1日から

〔入館料〕一般1,000円、大学生・高校生 800円、中学生以下無料

〔主催〕公益財団法人 大倉文化財団 大倉集古館

〔協力〕大成建設株式会社、特種東海製紙株式会社、株式会社ニッビ、株式会社ホテルオークラ

大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART

人々を援け寄り添う 神と仏

道釈人物画の世界

お正月や端午の節句に登場する、七福神や鍾馗などの神や仏がいま
す。お寺や神社の奥深くにいるのではなく、人々の暮らしに溶け込みな
がら存在していました。現代ではあまり出会わなくなりつつありますが
が、江戸時代から昭和の初め頃には、瓦人形や節句人形、掛軸などに表
現され、人々の願いに応えてきました。

本展では、七福神や鍾馗などの民間信仰の神仏とともに、仏教の仏で
ある普賢菩薩や文殊菩薩、禅宗で祀られた親しみのある姿の布袋、異国
情緒を醸し出す奇怪な風貌の羅漢などを取り上げ、私達人間のそばに
寄り添い、邪悪を払い、願いを叶え、ある時には生きる姿勢を示してく
れた神や仏の姿を紹介します。



「瓦鍾馗」(写真) 服部正実撮影

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：12月5日[金]、12月10日[水]

12月25日[木]、1月9日[金]

各14:00から(約1時間)

担当：四宮美帆子(当館主任学芸員)

会場：大倉集古館 展示室

お申込み：不要(ただし入場には入館券が必要です)

大倉集古館の歴史と建物 (スライドトーク&敷地ツアー)

※雨天の場合は、スライドトークのみとなります。

2025年2月21日開催とほぼ同じ内容です。

日時：12月19日[金](約1時間30分)

担当：四宮美帆子(当館主任学芸員)

会場：大倉集古館 展示室、屋外

聴講料：無料(ただし入場には入館券が必要です)

定員：40人(事前申込制、先着順)

お申込み：大倉集古館

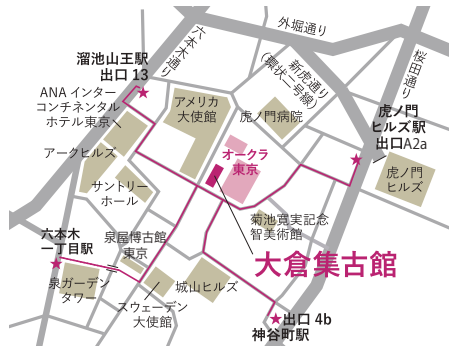
TEL:03-5575-5711(月～金 10:00～17:00)



「和合神図」 紀広成 江戸時代・19世紀 個人蔵



「達磨図」 岩井江雲 江戸時代・安永8年(1779) 個人蔵



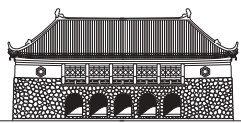
東京メトロ

南北線 六本木一丁目駅中央改札口(泉ガーデン方面)より5分

日比谷線 神谷町駅4b出口より7分

日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A2a出口より8分

銀座線・南北線 溜池山王駅13番出口より10分



OKURA MUSEUM OF ART

公益財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-10-3

(オークラ東京前)

TEL:03-5575-5711

<https://www.shukokan.org/>



「鏤絵寿老図六角皿」 尾形乾山作 尾形光琳絵付
江戸時代・18世紀 重要文化財 大倉集古館蔵



「見立普賢菩薩図」 山崎女龍 江戸時代・18世紀 大倉集古館蔵



「蓮池観音図」 白隠慧鶴 江戸時代・宝暦元年(1751)頃 個人蔵